

支援の輪



被災した民家の片づけを手伝うボランティア（9月16日、相野谷町）



災害発生時から自衛隊延べ8,000人が救助や支援活動に当たった。活動を終了し、市役所で市長や市民らに見送られて撤収した（9月20日、水海道諏訪町）



連日、家財道具の搬出やがれきの撤去などに多くのボランティアが活動。シルバーウィーク中には1日2,000人以上が参加した（9月27日、心身障害者福祉センター・中妻町）



常総災害FM局が連日、災害情報や支援情報などを市民に発信。常総ふるさと大使の青木智也さんも放送に協力した（9月18日、市役所本庁舎）



横浜市と名古屋市からごみ収集車と職員が駆けつけ、市内の災害ごみ収集を支援（10月2日、大崎町）



市内各地で炊き出しのボランティアが連日温かい食べ物を被災者に提供（10月13日、水海道あすなろの里・大塚戸町）